



JAPAN HIGH
PERFORMANCE
SPORT CENTER

資料 2

持続可能な国際競技力向上のための施策に関する評価検討会（第2回）

国際情報戦略について

令和6年12月23日（月）

独立行政法人日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンスポーツセンター

理事 / センター長 久木留 毅

JAPAN SPORT
COUNCIL

ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）

2001年：国立スポーツ科学センター（JISS）開所

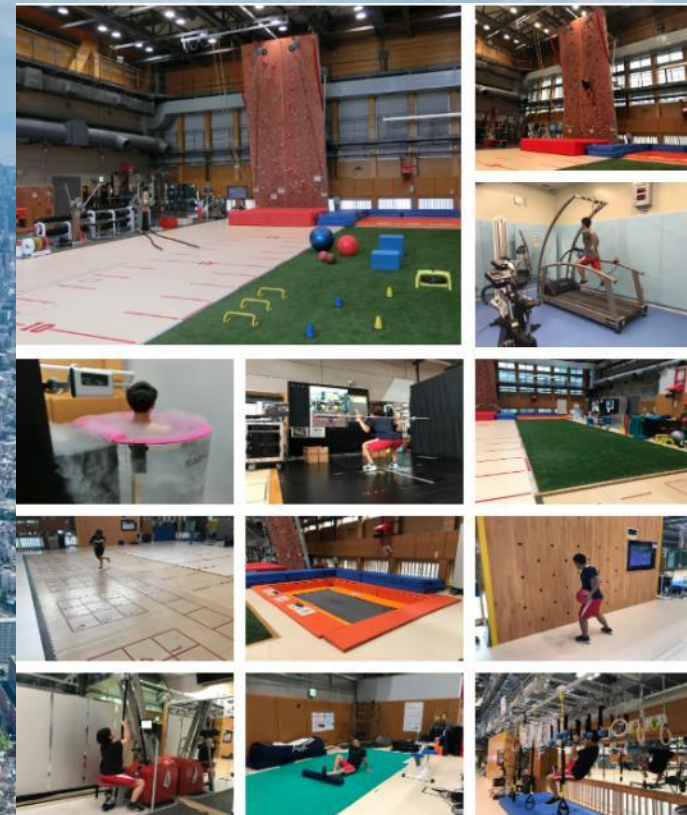
2008年：味の素ナショナルトレーニングセンター

屋内トレーニングセンター（NTC West）供用開始

2019年：屋内トレーニングセンター・イースト（NTC East）供用開始

国際情報戦略部

ハイパフォーマンススポーツに関わる国際情報を多角的に収集・調査、分析、蓄積し
国内外の関係団体等に提供



陸上競技場

NTC East

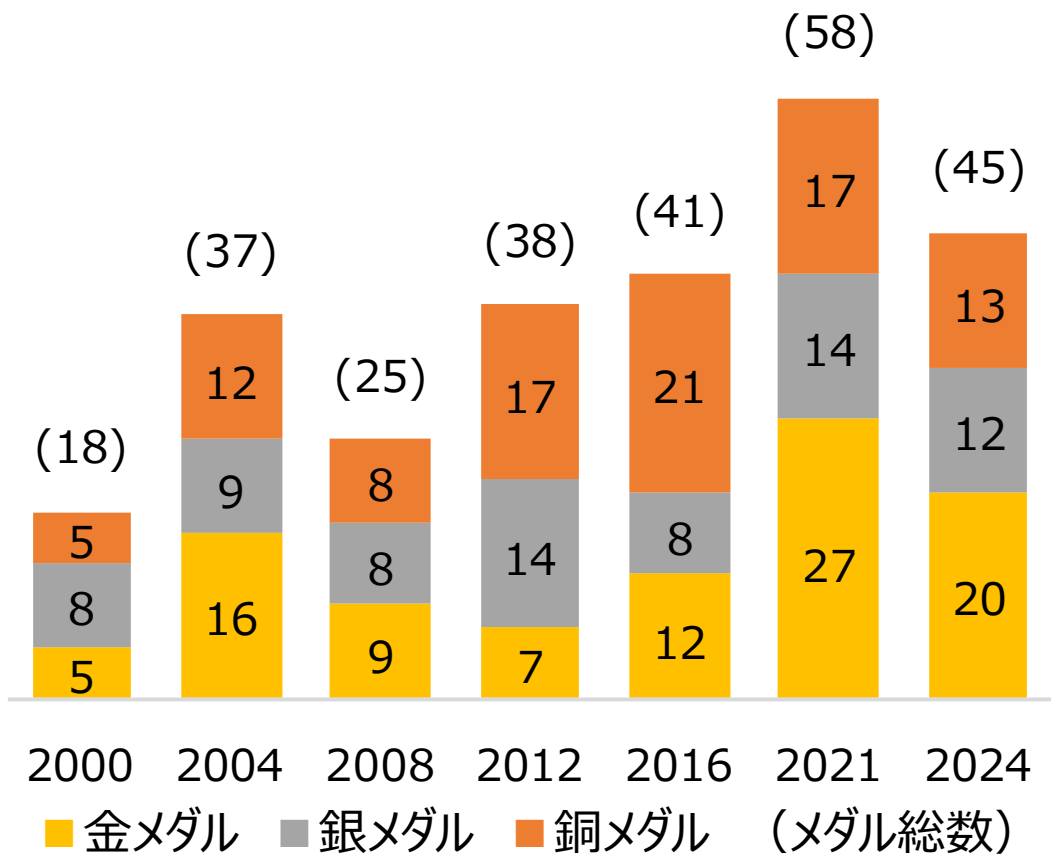
アスリート
ビレッジ

NTC West

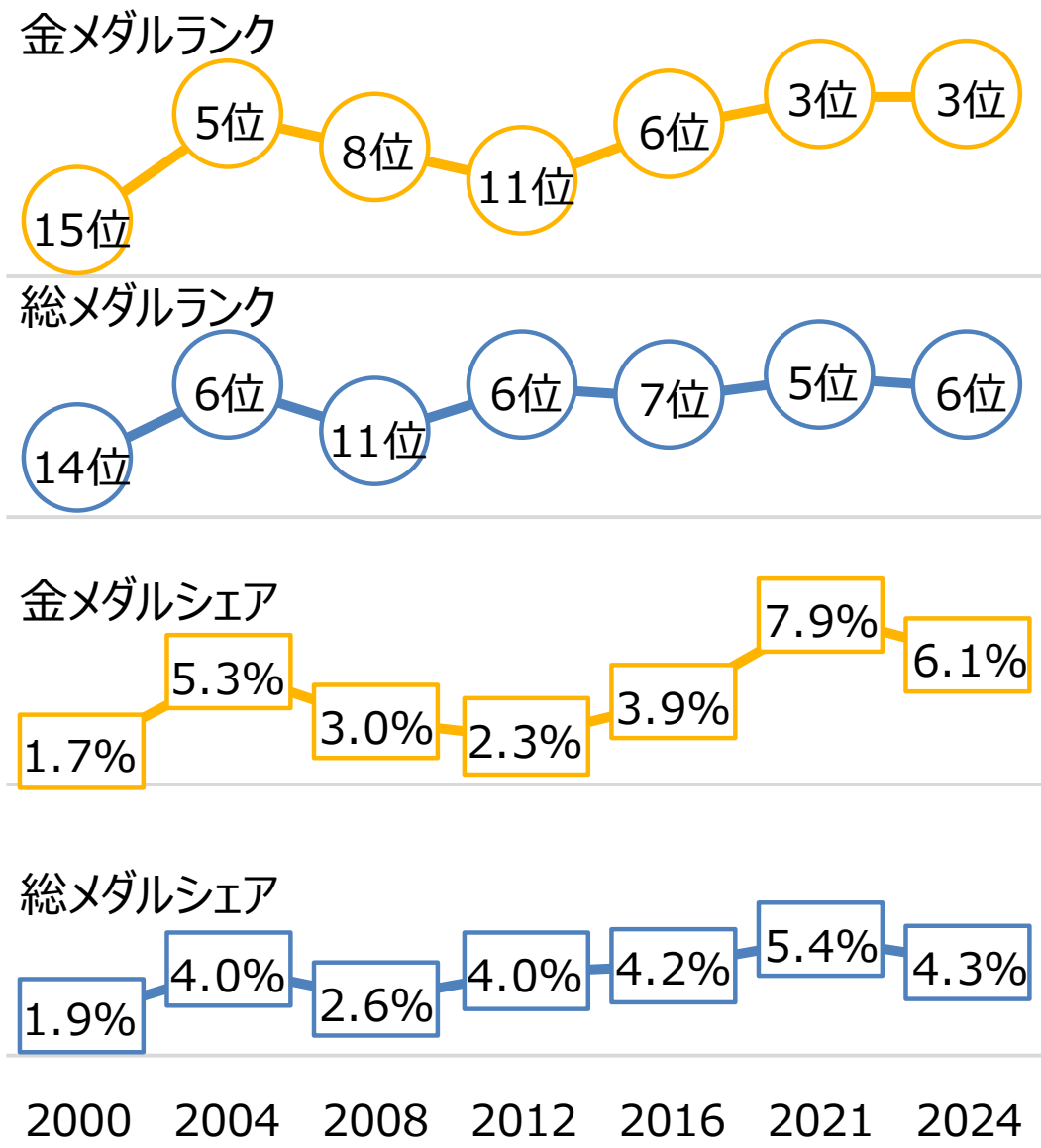
JISS

サッカー場

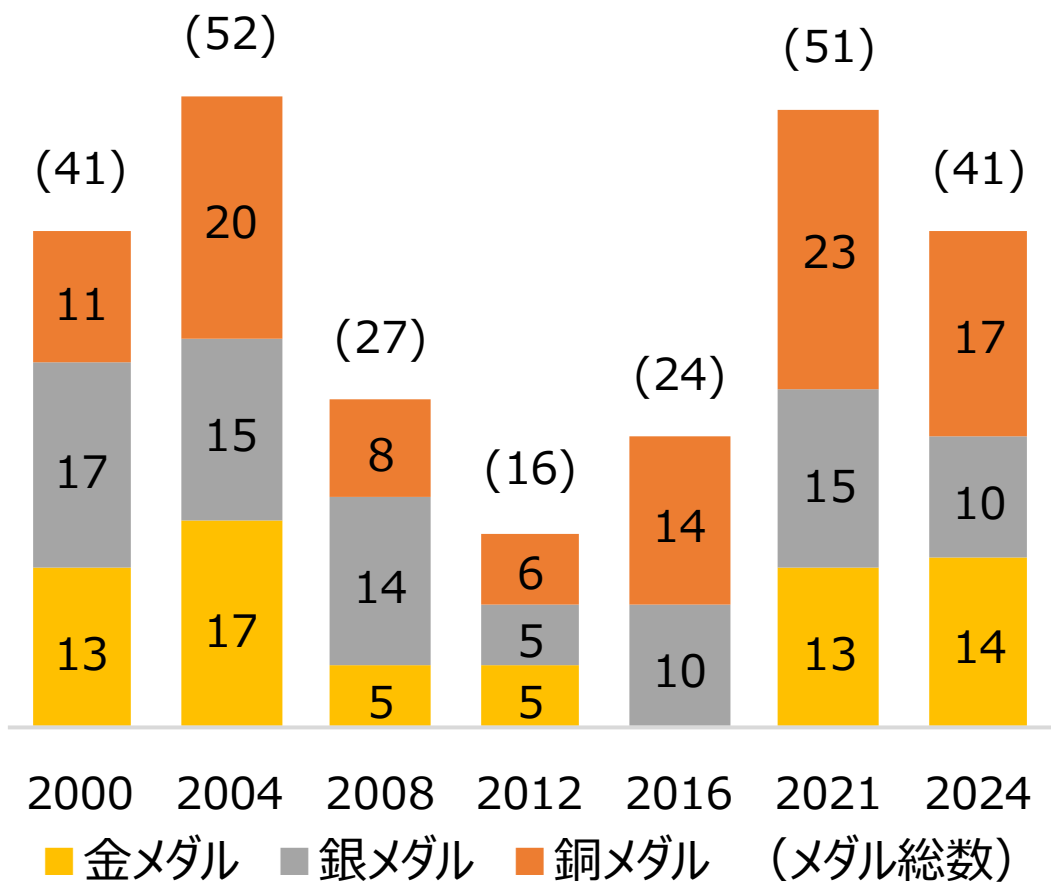
シドニー2000～パリ2024日本メダル獲得数



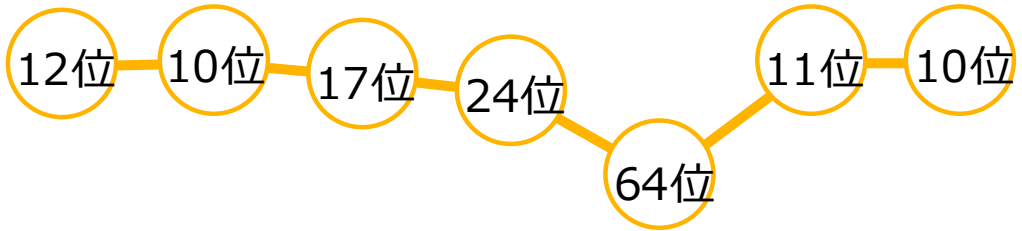
シドニー2000～パリ2024日本ランク変遷



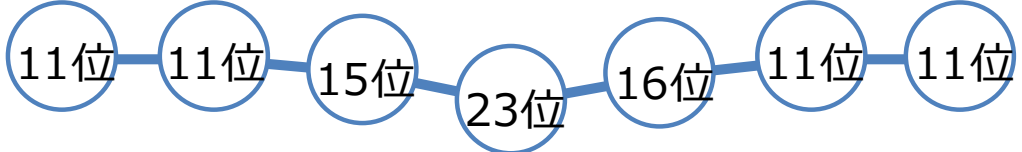
シドニー2000～パリ2024日本メダル獲得数



金メダルランク



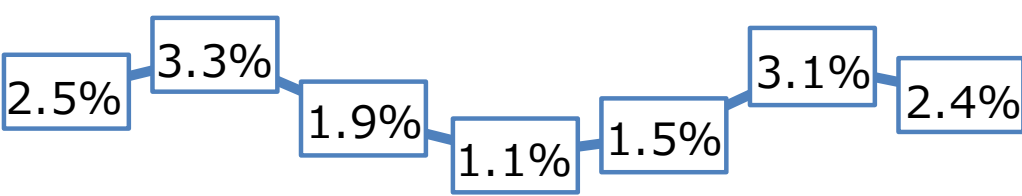
総メダルランク



金メダルシェア



総メダルシェア

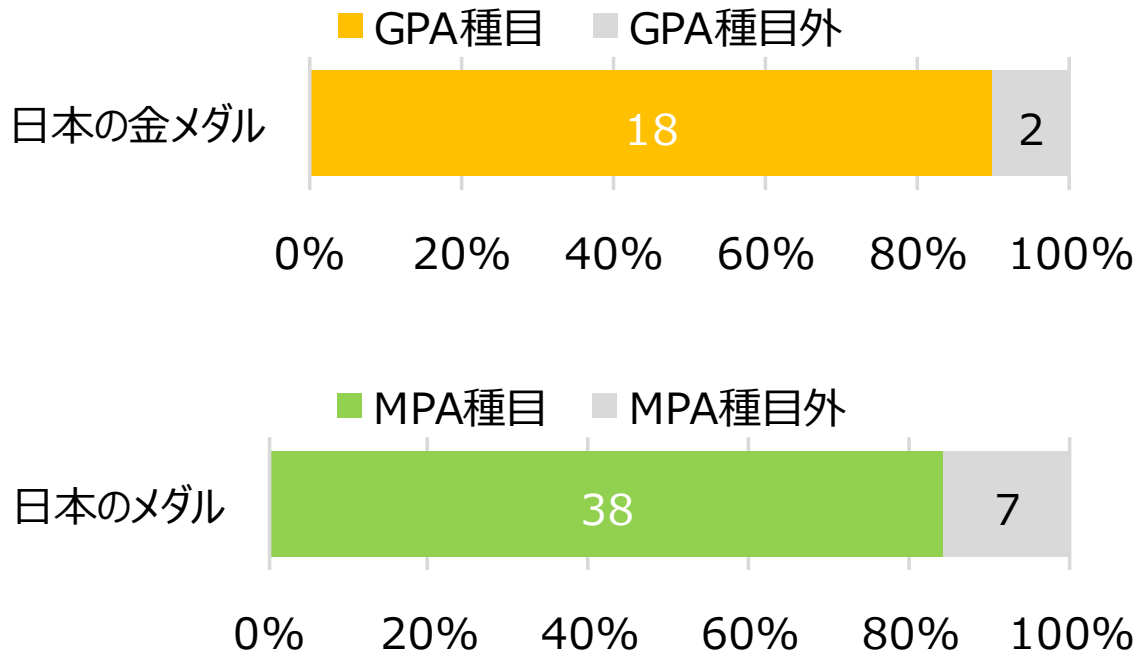


2000 2004 2008 2012 2016 2021 2024

MPAとメダル獲得結果 日本

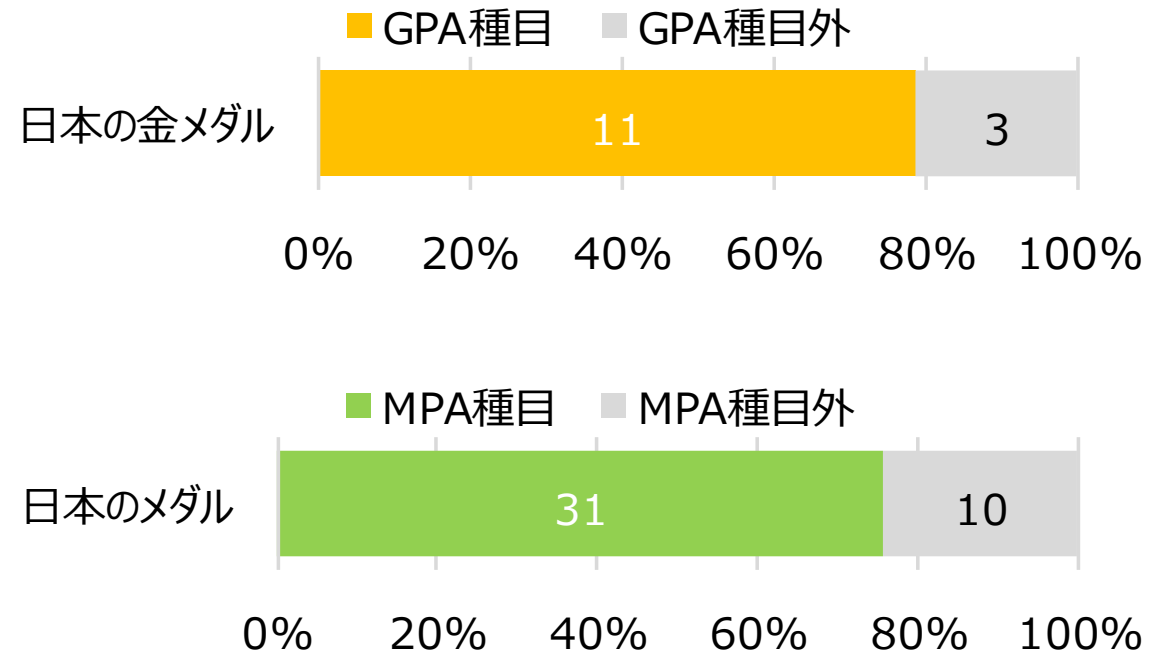
オリンピック

日本の金メダルの **90%** がGPA、
メダルの **84%** がMPA



パラリンピック

日本の金メダルの **79%** がGPA、
メダルの **76%** がMPA



HPSC利用競技団体のパリ2024メダル獲得数と割合

		オリンピック	パラリンピック
金メダル	追加競技含む	85% (17/20)	N/A
	既存競技のみ	100% (17/17)	79% (11/14)
メダル	追加競技含む	78% (35/45)	N/A
	既存競技のみ	90% (35/39)	88% (36/41)

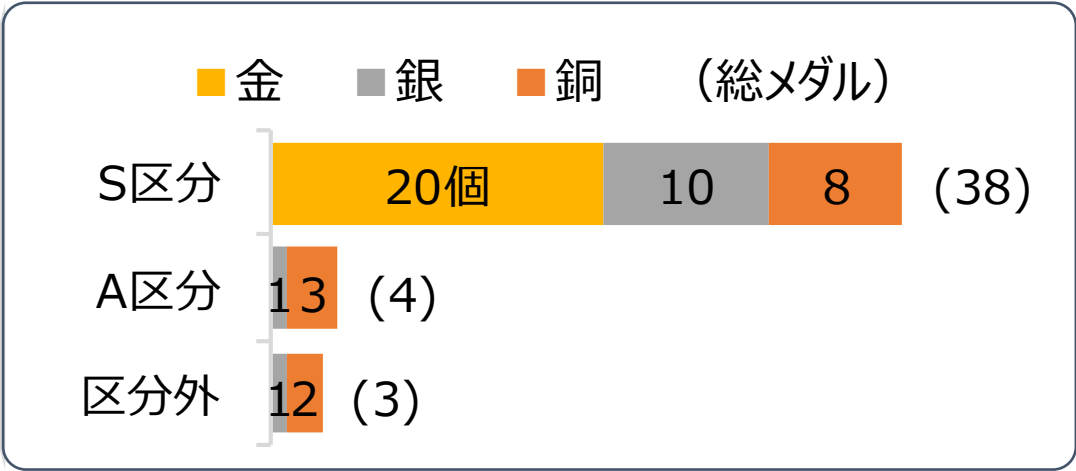
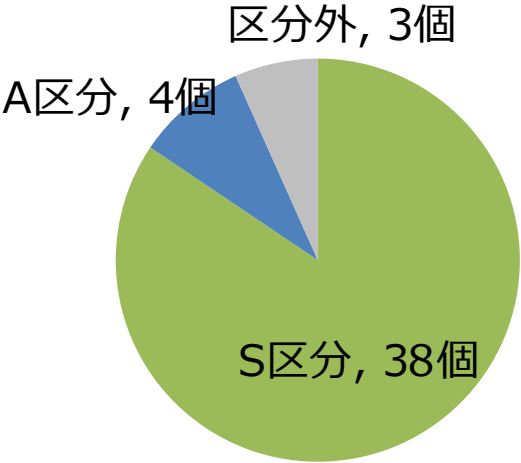
(HPSC利用競技メダル数/合計メダル数)

■ 金メダル獲得競技 ■ 銀・銅メダル獲得競技
■ メダルを獲得しなかった競技

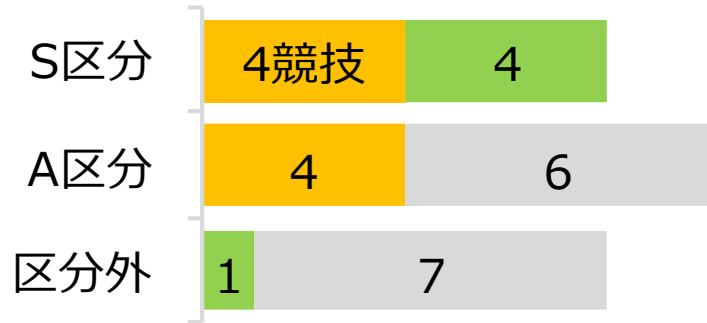


S区分の競技はすべてメダルを獲得
A区分の競技は2競技のみメダルを獲得

区分外から生まれたメダルは3個のみ
金メダルはすべてS区分の競技
メダルの84%がS区分の競技
メダルの93%が重点支援競技

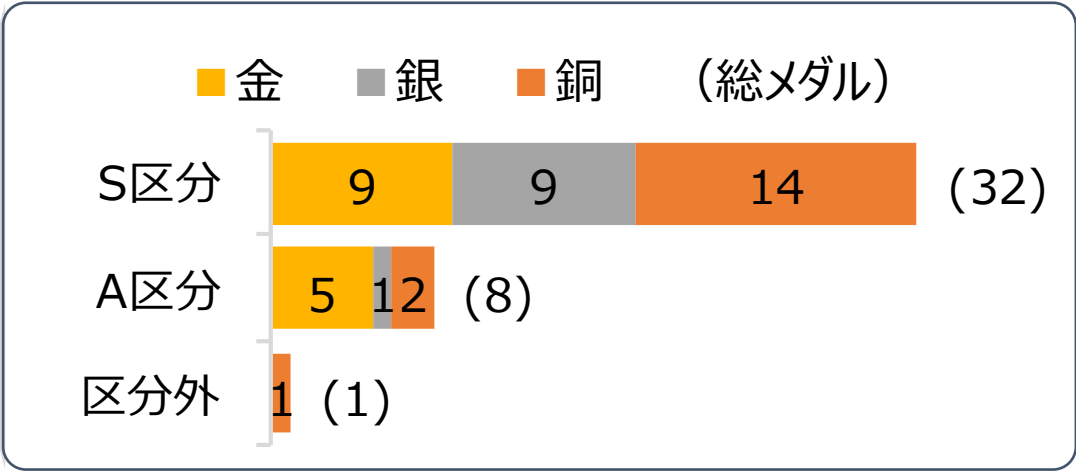
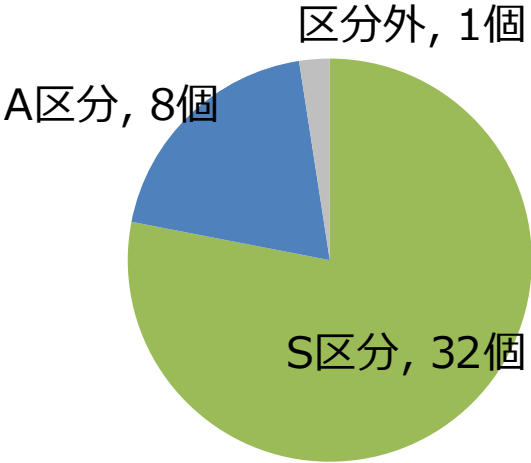


■ 金メダル獲得競技 ■ 銀・銅メダル獲得競技
■ メダルを獲得しなかった競技



S区分の競技はすべてメダルを獲得
A区分の競技は4競技がメダルを獲得

区分外から生まれたメダルは1個のみ
金メダルの64%がS区分の競技
メダルの78%がS区分の競技
メダルの98%が重点支援競技



ロサンゼルスに向けた動向：競技運営

競技運営計画

IFは大会運営において、各競技の運営に関する決定権を持つ中核的な役割を担う。

- 大会における全ての競技要素（競技規則、競技スケジュール、競技エリア、練習会場、競技用備品など）は、IFの規則や決定に従う必要がある。
- オリンピック・パラリンピック競技大会の成功には、競技運営計画の具体的な策定が欠かせない。
- 大会の4年前から、この計画が詳細に策定され、各競技に特化したマイルストーンが設定される。

JSC独自調査によると

パリ2024オリンピックでは約**50**種目、パラリンピックでは約**23**種目の競技規則等が変更

パリ2024における競技運営変更内容の種類とその数

	OG	PG
競技フォーマットの改定	8	5
種目の削除・追加	3	18
判定ルールや採点方法の変更	12	5
予選方式の変更	13	1
その他	38	37

OGの事例

アーティスティックスイミング：採点方法の変更
自転車競技ロード：チーム無線の使用禁止
スポーツクライミング：順位決定方法の変更

PGの事例

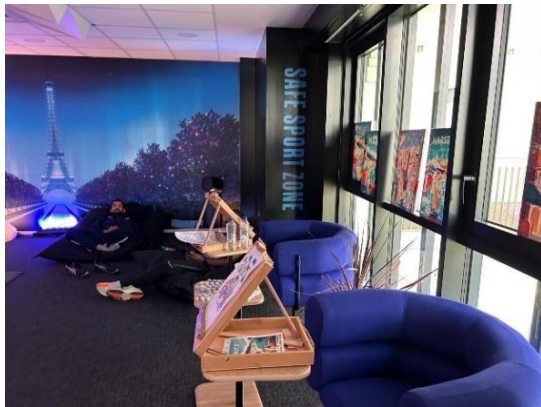
ブラインドサッカー：試合時間の変更
ボッチャ：決勝トーナメント進出条件の変更
車椅子ラグビー：敗退したチームの最終順位を決定するための順位決定プレーオフフェーズの導入

ロサンゼルス2028に向けた主要マイルストーン

2024年 第2四半期	【ウェブ1】 6月 オリンピック競技会場発表 【ウェブ2】 7月 オリンピック競技会場発表
第3・4四半期	✓オリンピック競技スケジュール（日別）の継続協議
第4四半期	【ウェブ①】 パラリンピック競技会場発表 【ウェブ3】 オリンピック競技会場発表（第4四半期～2025年第1四半期）
2025年 第1四半期	✓大会前トレーニングガイド公表
3月	✓オリンピック実施競技プログラム及び選手枠等：IOC理事会決定
第2四半期	✓オリンピック競技セッションスケジュールIOC理事会承認。公表。 ✓単独サプライヤー指針のガイドライン完成 ✓NOCオープンデー
6～7月	✓パラリンピック実施競技プログラム及び選手枠等：IPC承認
下半期	✓オリンピック競技別競技備品リストIF承認 ✓競技別テクノロジー要件協議開始
2026年 上半期	✓オリンピック出場資格取得プロセス公表
第3四半期	✓NOCオープンデー ✓NPCオープンデー
下半期	✓テストイベントカレンダー公表
2027年 上半期	✓出場権獲得プロセス開始
第3四半期	✓選手団団長セミナー
下半期	✓ア krediyation申請開始

IOCの取組：メンタルヘルス・セーフガーディング

マインドゾーン (Athlete365 Mind Zone)



IOC独自の調査により、アスリートは大会期間中**選手村内**にて「周囲から己を切り離し、緊張をほぐす場」が必要と感じている為、**専用施設を初めて設置**

場所：選手村のトレーニングジムに隣接

- ・「**フィジカル**」と「**メンタルヘルス**」を一緒に支援

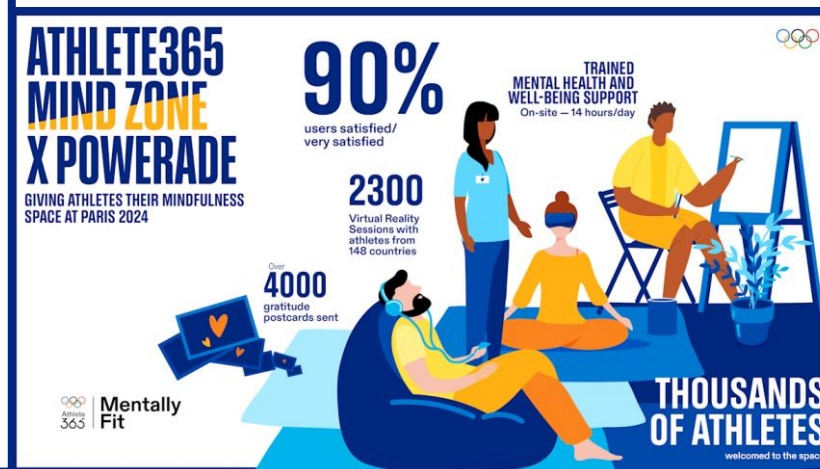
運営：IOCセーフスポーツチーム

利用者数：148の国・地域から数千人のアスリートがオリンピック期間中に利用

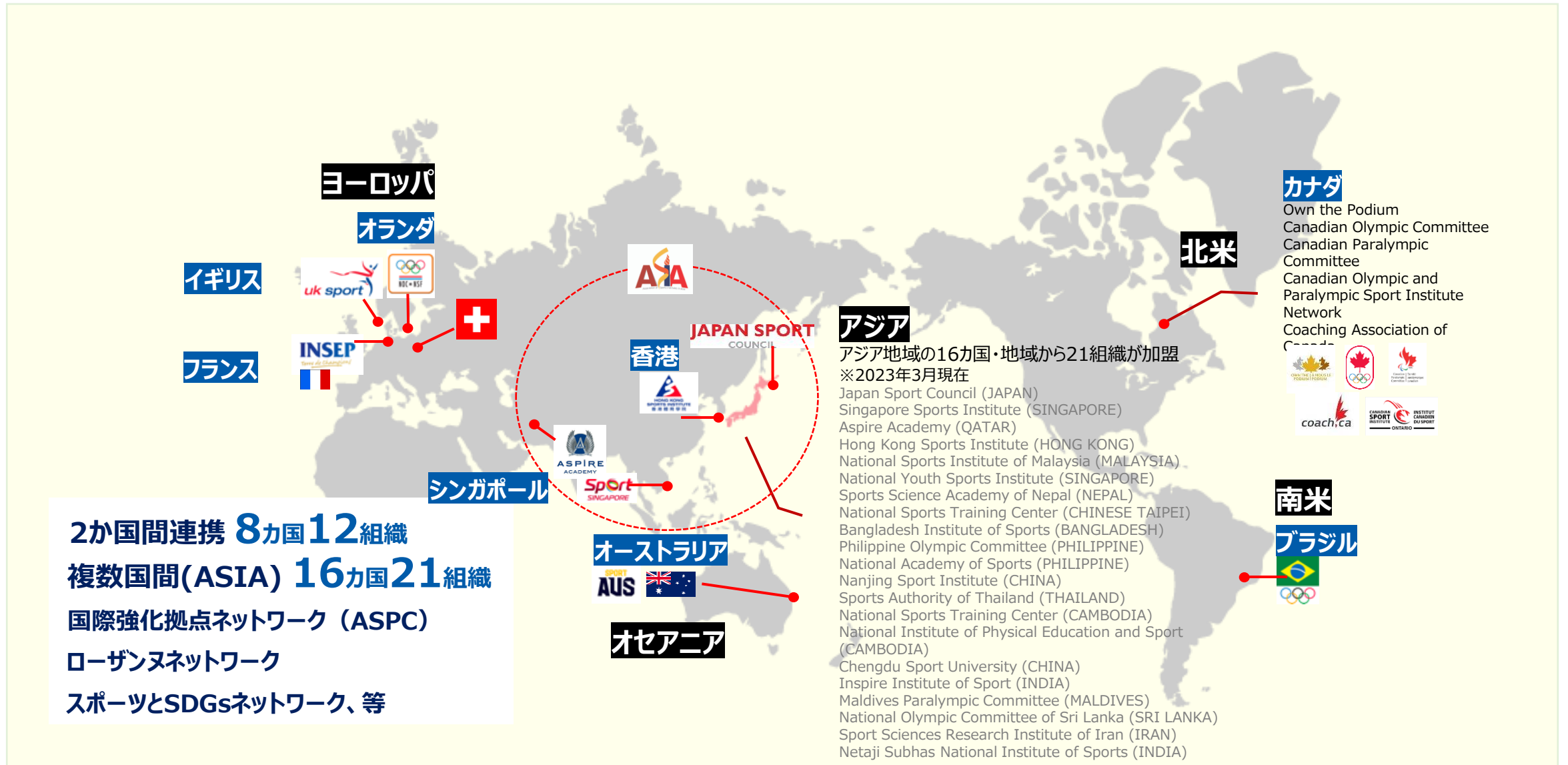
セーフガーディングオフィサー・ウェルフェアオフィサー

パリ2024では、各国・地域がセーフガーディングの能力を更に高めるために、新たにIOCの「Safeguarding Officer in Sport Certificate」を保有するNOCスタッフに対して、**ウェルフェアオフィサーのアクレディテーションを追加で上限2枚まで付与**

人数：148人のウェルフェアオフィサー、76のNOCから参加



国際情報戦略部：ネットワーク



パリ2024のレガシー&サステナビリティ戦略とその評価

1. より持続可能で革新的な大会運営の実現

➤ **環境に配慮した大会運営モデル** ➡ **関係者の行動変容を促し、サーキュラーエコノミーの確立を目指す大会へ**

＜温室効果ガスの排出削減＞ ＜マテリアル・フットプリントの適切な管理＞

- 例) ・ 95%の会場は既存施設か仮設施設
・ ケータリングの総食料供給の8割はフランス産、25%は競技会場周辺の地元産、空輸による食料輸入はゼロ
・ 給水所の設置・リターナブル容器の導入 ・ 自転車レーン、駐輪場の設置

➤ **零細・中小企業、失業者、障がい者、地元住民等にとって大会関連の市場・雇用機会を身近なものへ**

- 例) ・ 大会サプライヤーの9割はフランス企業、75%は零細・中小企業
・ 選手村の洗濯管理は社会統合・障がい関連のコンソーシアムへ委託 ➡ **地元企業・社会的弱者にとって利益をもたらす大会へ**

2. 社会的・環境的レガシーの構築

➤ **「教育のためのスポーツ」、「健康のためのスポーツ」、「社会的包摂のためのスポーツ」、「環境のためのスポーツ」**

- 例) ・ 全国の小学校における「毎日30分運動」イニシアティブの実施
・ アクティブデザインにより公共スペース・建物のデザイン工夫によるアクティブなライフスタイルの創出
・ 「インクルーシブクラブ」ネットワークの構築 ➡ **社会課題を解決する手助けとしての大会の位置付け**

指標を用いて経済的・社会的・環境的な成果を測定・評価

大会招致・開催のインパクトの可視化は必須

まとめ

国際競技力向上のため、国際スポーツ情報の一元化および効率的・効果的な共有と活用の推進

国際スポーツ情報(例)

- オリンピック・パラリンピック大会の準備状況とマイルストーン
- 主要国際大会におけるリザルトの集計・分析
- ハイパフォーマンススポーツを取り巻く国際トピックス
- 国際スポーツ・政策動向
- 諸外国の動向
- 国際スポーツイベント 等



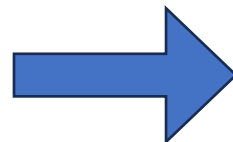
ALL JAPAN体制における中・長期及び大会期間中の支援方策の構築・推進における

各組織の**役割分担と連動方法**の明確化



国際スポーツ情報活用推進会議を通じて

- 情報の一元化
- 効率的な情報連携
- 有効的な情報活用



国際競技力の向上